

R4年度

1月  
検診案内送付

3月以降  
検診

検診後支援

検診案内



70歳 高齢者  
(R4.4.1時点)

7,418人

検診対象者

認知症  
気づきの  
チェックリスト  
20点以上

+

20点未満で  
検診希望  
(もの忘れが気になる人)

計 500人

(算出根拠)  
年齢階級別の認知症有病率  
70~74歳 3.6%  
出典: 日本医療研究開発機構 認知症研究開発事業「健康長寿社会の実現を目指した大規模認知症コホート研究(研究代表者二宮教授)」より

7,418×4%≒300人  
(推定認知症高齢者数)  
+  
200人(概算見込検診希望者)  
=500人

希望制

1 個別検診 (無料診断)

想定 150人



- (1) 問診 (HDSまたはMMSE)
- (2) 社会的支援ニーズの明確化

2 集団検診 (無料診断)

2日間  
想定 200人



- (1) 脳の健康度測定 (エーザイ「のうKNOW(ノウノウ)」)
- (2) 社会的支援ニーズの明確化

- 【医療に関するニーズ】
- ① 認知症等の医学的診断
- ② 身体的健康状態の医学的評価
- ③ 継続医療の確保
- 【福祉に関するニーズ】
- ④ 生活支援
- ⑤ 家族支援
- ⑥ 居住支援
- ⑦ 介護保険サービスの利用支援
- ⑧ 経済的な支援
- ⑨ 権利擁護に関する支援

(実施結果)

認知機能の維持向上のための活動が必要

ボーダーライン

正常な状態

- (3) 医師からの助言
  - ・気づきのチェックリスト20点以上
  - ・のうKNOW記憶カスコアC判定
  - ☑医療機関あて「連絡票」を発行し、受診勧奨
- (4) 健康ミニ講座
- (5) 地域包括支援センター職員による個別健康相談(希望者)

現段階で支援の必要なし

医療に関するニーズ有りと判断された人

福祉に関するニーズ有りと判断された人

- 認知症疾患医療センターによる診断・支援
- 訪問看護ステーションによる支援

最長6か月  
電話 面接 訪問  
通院同行 2~3回、  
電話相談 2~3回、  
訪問(30~60分) 10回

- 地域包括支援センターによる支援

本人の意思を尊重しながら  
社会的支援ニーズの調整

フォローアッププログラム

- 脳の健康度測定(エーザイ「のうKNOW(ノウノウ)」)
- 医師・健康運動指導士・管理栄養士等による健康講座

都補助金 10/10 (R6年度まで)

一般財源から支出